

<p>第5期横浜市子ども・子育て会議 第4回保育・教育部会  第33期横浜市児童福祉審議会 第6回保育部会 合同会議 公開議事会議録</p>		
日 時	令和3年9月2日(木) 18時00分～18時30分	
開催場所	市役所18階 みなと6・7会議室	
出席者	石井部会長、山瀬副部会長、大澤委員、大庭委員、尾木委員、荻込委員、天明委員、中丸委員、新堀委員、森委員	
欠席者	なし	
開催形態	公開(傍聴者なし) ※一部非公開	
議 題	<p>1 議事&lt;公開案件&gt;  <b>【子ども・子育て会議】</b>  (1) 子ども・子育て支援事業計画の点検評価について</p> <p>2 議事&lt;非公開案件&gt;  <b>【子ども・子育て会議】</b>  (1) 私立幼稚園2歳児受入れ推進事業の事業者選定について  (2) 保育所からの移行に伴う幼保連携型認定こども園の認可について  (3) 幼稚園型認定こども園の認定について</p> <p><b>【児童福祉審議会】</b>  (4) 法人の自主財源による整備に伴う保育所の認可について  (5) 小規模保育事業の認可及び改修費補助金交付先法人の審査について</p> <p>3 その他</p>	
議 事	<p>石井部会長</p> <p>事務局</p> <p>尾木委員</p>	<p>まず、議事の(1)、子ども・子育て支援事業計画の点検評価について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>議事(1)「子ども・子育て支援事業計画の点検評価について」事務局から説明。</p> <p>今の説明の中で延長保育や一時預かり等の評価がCとされている項目がある。需要があったのに利用できなかった、といった事情があればC評価もいたし方ないが、新型コロナウイルス感染症の影響で需要が低くなったのであれば利用実績は上がらなくても当然なので、疑問が残る。ただ、他にもC評価の項目は少なくないため、低い評価でもないのかもしれないが。</p> <p>また、3番の園内研修・研究の推進の項目について、施設長研修は中止のところ、もう一方のサポーター派遣は実施しているためB評価になっている。その一方で、食育研修等の実施できなかった項目につ</p>

	事務局	<p>いてはD評価となっている。これは、項目3の方は2つの取り組みの抱き合わせで、本来D評価となるところをB評価としたということか。考え方を教えてほしい。</p> <p>利用者の人数に関する項目については、100%新型コロナウイルス感染症の影響だと言い切れない面もあり、令和2年度の想定事業量と比較し、機械的にCやDの評価としている。また、保育関係以外の取り組みもあり、横浜市全体の計画の中で評価の基準を揃えている。資料の中の、令和2年度の取り組みという項目で、実態として利用者の需要には応えているといった内容であっても、進捗状況の数値では目標に達していないため、どうしても低い評価に見えてしまうようになっている。</p> <p>園内研修の施設長研修については、職員が参加する研修は規模を縮小して実施した。本来であれば、園で参加している施設長の方にもご同席いただいて研修をするが、会場の都合と、施設長がコロナ対応等で来られないということもあり、施設長の部分だけは中止した。指標は、施設長研修参加者数としているが、園での園内研修・研究自体は実施したということと、サポーターについては、コロナ禍ではあるが短時間、感染に気をつけた上で実施したため、B評価とした。</p>
	尾木委員	<p>意味合いについては承知したが、項目1の保育・幼児教育研修及び研究事業については人数を制限して実施したのにもかかわらずDという評価は低いのではないか。</p>
	事務局	<p>目安として令和2年度の実績値が目標値となっており、2年度の想定事業量にあるものの半分までいかなかったものをDとしている。そのため、保育関係の事業だけではなく、他の事業との整合性もありこの評価となっている。</p>
	尾木委員	<p>数字上の比較でそうなったという理解でよろしいか。</p>
	事務局	<p>そのとおり。令和2年度に限っては少し厳しい評価となっている。</p>
	大庭委員	<p>延長保育等が少なくなったのは保護者が長時間預けないように努力した結果でもあり、D評価ではないと思うが。</p>
	事務局	<p>総合的な評価とすべきかもしれないが、単純に事業量人数を評価基準にしている。</p>
	天明委員	<p>項目13・14について、新しい保育士の募集イベントや見学会など色々中止になっているということだったが、採用数はどうなっているのか。イベントの中止よりも、その後の保育士の確保状況、成果が重要ではないか。例年に比べ横浜市に来る方が減ったのか。</p>
	事務局	<p>毎年、定員割れとなった理由を園に調査をしている。その中で、保育士確保ができなかったことを理由として挙げた園が、令和3年は43園あり、これは去年より減っている結果になっている。コロナ禍の中</p>

	<p>天明委員 中丸委員</p> <p>事務局 石井部会長</p>	<p>で採用は難しい状況だったが、各園の皆様の工夫や、資料には記載していないがオンラインでの開催等もしており、参加者としては少なかったかもしれないが、しっかり取り組んでいると認識している。</p> <p>承知した。</p> <p>項目15の保育所での一時保育について、評価がCとなっている。希望の日に利用できないといった利用者の声もある。預けたい家庭は多くあると思う。保育園側でも日によって保育士の人数など難しいところもあるかもしれないが、もう少し利用者のニーズに添えていただければと思う。</p> <p>そのようにしていきたいと思う。</p> <p>他にございますでしょうか。</p> <p>特に無ければ、当部会の意見としては、事務局の示したとおり、認めることとして、よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">&lt;一同了承&gt;</p>
--	---	---